

関西ビューティプロ専門学校

2024年4月 ～ 2025年3月
自己評価結果報告書

評価点数定義

4	適切
3	ほぼ適切
2	やや不適切
1	不適切

1.教育理念・目標

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	学園理念である「美を通して社会で活躍できる心身を育てる」を体現すべく、「人間力」「基本力」「創造力」「感動力」をコンセプトとし、カリキュラム・授業内容を組み立てている。	学科により、大きく職業観、教育内容、学生の意識、学科特色が違い、学校としての特色が共通の意識として持ちづらい点が課題。
2	学校における職業教育の特色は何か	3	美に関わる仕事としての接客、マナー教育やコミュニケーション能力等の職業教育、各職業に必要な技術、資格の取得を特色としている。	
3	社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想は抱いているか	3	少子高齢化に伴う、現場での人材減少から各業界から即戦力となる人材が必要とされているが、高校生のニーズとしては、「一つの職業を入学時に決めて集中して学ぶ」ではなく幅広く学ぶというニーズが多くなっている。 学びたい内容も流動的であることから、トータルビューティを主軸に学内で職業観を育み、現場で求められる技術、心を学生に教育、就職のサポートができるよう、全国の企業・サロンと連携し変化し続ける学校であり続けようとしている。 また、職業教育として技術や姿勢、マナーなどを従来通り行うと同時に、美容を楽しく学ぶ事も柔軟に取り入れ、セミナーやイベント等積極的に増やした。 DX化対応の足掛かりとして、BA科にてipadを用いたメイク授業を行ったが機器の取り扱いや従来通りのお客様への案内に使う紙とペンを使ったメイクシート作成に課題があり問題となっている。	美に関わる仕事としては学科の隔たりは無いので、共通する事で学校としての共通意識を育成する事が大事ではないか。 来年度から修学支援新制度の多子世帯への条件緩和や、高等教育移管への法改正が進む。それに対応し専門学校も社会経済からのニーズに答え、選ばれつづける学校を目指す。 今後の社会のDX化やAIの利用、小中学校から始まっているGIGAスクール構想が進むにつれ、専門学校も対応が必要となるため、その対応も今後の課題とする。

2. 学校運営

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	目的に沿った運営方針が策定されているか	4	運営方針・事業計画は校長がこれを作成し、全体会議等で周知徹底している。学校運営組織は、校長をトップに副校長、教務部がこれを補佐する形で運営されている。人事、給与については就業規則並びに諸規定によって規定されている。	来年度から、授業スケジュールや予定を合わせやすいよう、給与規定に若干の変更を行う。
2	運営方針に沿った、事業計画が策定されているか	4		
3	運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化されているか	4		
4	人事、給与に関する規定などは整備されているか	4		
5	教務、財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか	4		
6	教育活動などに関する情報公開が適切になされているか	4		

3.教育活動

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	教育理念に沿った教育課程の編成、実施方策などが作成されているか	4	当校の母体は関西美容専門学校であり、学園全体の教育理念として「美を通して社会で活躍できる心身を育てる」をモットーとし、「人間力」「基本力」「創造力」「感動力」をコンセプトに年間のカリキュラムを作成。プロとしての職業を意識を持たせる内容の他、多数の資格取得を目指す内容を多く取り入れている。	インテリジェンスセミナーは、ビューティプロ独自の最近の流行に沿った内容を取り入れたため学生の学習意欲や満足度が高まった。 選択科目では卒業生やサロンスタイリストに講師として直接学生に指導して頂くカリキュラムを導入し、学生の技術向上、資格取得につなげている。 また取得した情報・ニーズをすぐに取り込み教職員のスキルアップを行い、指導に取り入れていくことの時間確保を課題とする。
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえて学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4		
3	カリキュラムは体系的に編成されているか	4	カリキュラムにおいては美容業界の情報を取得し、授業内容へ反映させている。また取得した情報をもとに職員が毎年見直しを行い、基礎から実践力を養うカリキュラムの進行を行っている。流行や季節に合わせた授業内容も取り入れ、学生が楽しめるように努めている。	
4	美容業界の連携によりカリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4		
5	美容業界における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4		
6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	日常の授業評価として校内筆記・実技試験を行い成績通知表に記載し家庭内にて確認が出来るよう保護者への送付も行う。進級・卒業の認定については必要単位数を明確にしている。	
7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取りいれているか	4	外部関係者からの意見は柔軟に取り入れ、その都度検討し必要と判断する内容などは採用するようにしている。	
8	成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か	4	成績評価については3学期制をとっており、学期ごとに試験を行い各教科・科目の評価、欠席日数管理をし、進級・卒業判定は明確に定めている。	
9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での位置づけはなされているか	4	カリキュラム内にて、様々な業界で活躍している技術者を講師として招き、教育水準を高めている。その事から、資格取得に関し各団体が公表している全国平均合格率より高い合格率を出している。	
10	人財育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3		
11	美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や教員の指導力の育成などの向上のための取り組みが行われているか	4	指導・教育にあたり教職員のスキルアップが重要となり、各学科にとどまらず各科目のスキルアップレッスンを繰り返している他、年度初めには学園全体で指導への研修を行っている。	
12	職員の能力開発のための研修は行われているか	4		

4.学習成果

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	就職率の向上はなされているか	3	就職については活動意識を高める授業を取り入れ活動方法、会社リサーチなども行えるよう徹底した指導を取り入れている。また、どの職種も多く求人を頂き学生も色々と検討しながら活動が出来た。就職率は95%と例年より下回ったが多くの学生に内定をいただいた。 TB3年制は美容師免許を活かす職業に就く学生が多い。	学生との個別面談の時間確保もカリキュラム作成時に行い、毎学期ごとに面談を行い、学生の状況を把握する必要がある。
2	資格の取得はなされているか	4	資格取得については就職活動の一環としてだけでなく就職後のキャリアアップも目指し、カリキュラムの内容に取り入れ積極的に取得につなげていく。追加で対策授業を行いスキルアップの時間も確保している。	就職活動においては、業種により専門職員による個別面談への誘導が必要であり、職員間での学生の情報共有を細かく行っていく。
3	退学率の低減が図られているか	3	退学率の低減については、担任が各学生を把握し、学生との面談、保護者との連絡、教職員の間でも連携をとって共有を細かく行ったため、退学率は減少した。 授業も楽しく学生が学べるように内容を考え、資格取得以外の授業も充実させた。	退学率の低減に対する取り組みは引き続き一人一人に対して丁寧に対応し、個々の声に耳を傾け学生にあった対応を行う。 また本部と職員との情報共有を図り、学生それぞれに合った対応ができるよう努めていきたい。
4	卒業生・在校生の社会的な活躍、評価を把握しているか	3	卒業生とのつながりは深く、同窓会やOGセミナーなどに呼びかけ常に把握に努めている。今年度は同窓会、OGセミナーを開催し在校生も卒業生の話を聞く良い機会になった。	日々の授業に意味を持たせ、資格取得に向けて目標を持ちながら、美容を学ぶことが楽しいと思える授業内容を引き続き検討し、取り組んでいく。
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	またキャリアマップシステムを使い学校からの情報を速やかに共有していけるようにすすめている。	

5.学生支援

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	1年生のうちから就職にむけての授業などを取り入れ、2年、3年に進級後は各担任との面談を行い個人の進路について指導している。個人個人の相談に関しては各クラスの担任や学科主任だけではなく教職員全員で適宜うけている。	就職に関しては求人数も増え、学生の希望を聞きながら就職のサポートを行った。職種が多い為、担任以外の学生との相談などがスムーズにできる体制作りの強化が必要である。 健康管理の面においては発熱や体調不良などがあれば必ず連絡をもらい早期に対処している。また【れんらくアプリ】という欠席連絡用のアプリを導入した。 来年度も心の悩みを抱える学生に対して、心理カウンセラーへの相談も活用しながら、学生の心の悩みの軽減を目指す。 入学生の9割強が新卒生のため、社会人対象の入試や制度等は特別設けておらず、社会人のニーズを踏まえた教育環境は未熟なところがある。しかし社会人、新卒生平等に受け入れをしており、教育も等しくしている。
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3		
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	経済的支援体制については日本学生支援機構奨学金制度、国の教育ローン制度のほかに、本校独自の学費免除特待生制度も設けており支援を実施している。	
4	学生の健康管理の支援体制は整備されているか	3	健康管理については年一回の健康診断を行っている。	
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	本校の課外活動とは外部のコンテストなどが主であり、技術指導や引率等の支援体制は充実している。学校イベントではサマーイベントやハロウィンイベント、クリスマスパーティーなど学科をまたいだ交流にも力を入れている	
6	学生の生活環境への支援体制はあるか	3	生活環境の支援については提携している不動産会社より学生マンションの紹介を行い遠方の学生の支援体制としている。	
7	保護者と適切に連携しているか	4	保護者には学期末成績表の送付をはじめ、年間行事予定表などの案内をその都度通知している。また、欠席が目立って多くなるなどの場合、保護者との面談を行っている。	
8	卒業への支援体制はあるか	4	卒業に向けての単位取得、校内実技試験、校内筆記試験において不足が認められた場合は補習という形を取り、補い、卒業に向けて対応している。	
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2	9割以上の学生が高校新卒生のため、社会人に対しての特別な環境や制度は設けていないが、新卒生等しく支援を受ける事が出来る。	

6.教育環境

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3	施設・設備は学習環境に影響がないように学生や教員の意見を取り入れ、整備をしている。 今年度はBA用のメイクルームを3月に増設した。	今年度初めての韓国だったので、次回は改善点などふまえ内容や行先も含め、検討していきたい。
2	学校外の実務実習、インターンシップ、海外研修などの実施の体制は整備されているか	3	学外研修サロンでの実務実習やビューティアドバイザー学科等ではインターンシップをメーカー企業と行い、技術向上や就職活動の一環として行っている。 関西コレクションに年間2回参加、海外研修はフランスへの交換留学などを行っている。	
3	防災に対する体制は整備されているか	3	避難経路の確認等を行った。	

7.学生募集

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	学生募集活動は適正に行われているか	3	入学案内書及び募集要項を毎年作成し、月2回はオープンキャンパスを開催し募集を行っている。 コロナ禍以降大学専門学校問わず年内入試への希望が強く、高校2年生の動きが早くなってきた。夏に開催している合同オープンキャンパスもビューティプロの場合はトータルビューティ3年制がAOの締め切り後になりほぼ高校2年生の集客となった。	2024年度は、2023年度で多きく落ちた18歳人口が一旦回復する年だった。オープンキャンパス参加者が伸び、昨年よりもAO入試でのエントリー者が非常に増加し、トータルビューティ3年制は6月中のAO締め切りとなった。全体としては昨年を大きく上回る募集結果となったが、エステ科は若干の微減という結果となった。 来年度は18歳人口はほぼ維持だが、3年後以降の大きな減少や18歳人口70万人台未満の時代に向け備えていきたい。
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか	3	HPでの紹介、オープンキャンパス等での学校説明により、教育成果を正確に伝えるよう努めている。また、高校生自身が主体的に自分で考え選んで進路を決定できるよう声かけ等、徹底させている。	
3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか	4	入学選考はAO入試・推薦入試、一般入試を行い、面談官に対してはアドミッションポリシーの共有や、採点ポイント等の共有などを毎年行ってい適正・公平を保っている。 オンライン面談を引き続き実施している。	
4	学納金は妥当なものになっているか	3	学費は妥当なものと考えている。また、募集要項に記載されている学費以外は極力かからないようにしている。	

8. 財務

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4	会計士・税理士・監事により適正に実施している。	特になし
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4		
3	財務に関する会計監査は適正に行われているか	4		
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4		

9. 法令などの遵守

1	評価項目	採点	現状	課題・改善案
2	法令、専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	4	専門学校設置基準に基づいて、適正に運営を行っている。個人情報に対しては、十分に注意し、教職員はもちろん学生にも指導している。	昨年度自己評価、関係者評価の公表を行い引き続き公表を続けると共にすべてではないが昨年挙げられた問題点に対して改善に取り組んだ。
3	個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか	4		
4	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3		
5	自己評価を公開しているか	4		

10. 国際交流

	評価項目	採点	現状	課題・改善案
1	留学生の受け入れ派遣について戦略を持っているか	2	留学生の受け入れや派遣は就職先が安定されないため意欲的に実施していない。 リセ・エルザ・ルモニエ校との短期交換留学を今後も行っていく	

2	学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか	3	1985年以降30年フランス国立のリセ・エルザ・ルモニエと姉妹校提携しており、学園として交流を行い、国を超えた取り組みを行っている。 昨年からは韓国、中国の高等学校などからの学校見学の要望が増え、学生との交流の機会を設けている。	特になし
---	---------------------------	---	--	------